

平成21年度 学校自己評価システムシート (私立 武陽学園 西武台高等学校)

目指す学校像	将来の社会の変化に対応できるしなやかな知性と耐性のあるたくましい精神の育成。長寿社会のもと、永き生涯にわたっての学び方を学び、学び続ける方法を身につけさせる。
--------	---------------------------------------------------------------------------------

重点目標	1 「人間教育を掲げた校訓を尊重する学校運営を基礎とするが、当面進学実績の大幅な改善を目指す方策を探り、具体的な行動を実施する。」 2 「いじめのない安心・安全な学校生活の保障」を目標とする。 3 学校行事・部活動の充実をはかりたくましく健全な精神の育成を図る。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 2 7 日 現 在)			
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策	
1	学習環境と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間の確保と学習内容の改善 統一的な生徒の学力把握と改善を図る 授業内容評価の実施 NIEの活用 小テストの導入 朝講座(読書・基礎英語2)の取り組み SPP 数学教育の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ベネッセ模試を導入し1年から3年までの自己の実力を公平に判断をする。 外部機関による授業評価の実施 NIEの活用と発表の場を設けその実践を全校生徒に還元する。 自宅学習時間の確保で週明けの統一小テストの実施。 生徒会ホールにブース型式の自習室及び講義室の設置 夏期にSPP(数学)講座開設 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な意識改革を進め、生徒の自覚を促し、学習時間の増をねらう。 客観的教員授業評価によって、教職員の意識の改善と授業の改善、充実度を比較する。 小テストは実施となった。教科担当の評価の詳細を比較。 学習ブースの活用の頻度を確認 SPP(数学)は実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間の増加は幾つかの対応を進めているが若干改善。 授業評価を外部機関に委託。全教員と面接し評価が低い教職員に具体的な授業改善の方法を指導した。 生徒の学習ブースの活用は順調であった。 SPPは予定通り実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価は、アンケートの取り方とその時期、回数等今一度効果を高める方法を探りたい。 学習ブースの新設は生徒にとって喜ばれた活用であった。今後は施設の改善と使用方法には再度生徒のニーズを汲み上げたい。
2	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> コース新設による生徒のニーズにあった計画的・継続的組織的な進路指導の充実 現3年生に対して、プロジェクトチームをつくり、学力向上の実をあげる方法を実施 学習環境の大幅な改善 	<ul style="list-style-type: none"> 新規コースの責任者を任命し継続的な指導の一貫性を高める。 日常的な進学補講の充実と長期休業中の勉強合宿の改善・充実 3年対象プロジェクトチームとしてSSS(スペシャル サポート スチューデント)学習体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に開設した特進選抜コースの生徒の学習の伸びと意欲を評価 進学補講開設の増加と生徒の学習応募状況等及び夏期合宿の成果を確認 3年生の学習評価の伸びとSSS学習の効果を検証 秋期特別補講を計画 	<ul style="list-style-type: none"> 進路における動機付けの指導を深め学習意欲の涵養に努めた。 進学補講の組織的開設は予定通りできた。夏期合宿の意欲は高く、充実した内容であった。 SSSは対象本人達にとっては指導の濃いものとなった。 秋期特別補講も実施となった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 進学指導の改善と充実は極めて大きな課題である。人事面の充実と共に進学補講の新たな開設を含め、今後一層力を入れ様々な面から改善努力したい。
3	生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の育成 集団活動の充実 部活動の充実 服装・所持品等の規定の遵守と貴重品管理に対する心構え 交通事故防止対策の徹底 カウンセリングの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 1年次当初での集団宿泊研修の実施 挨拶の日常的励行の指導 自転車指導を実施し交通事故を少しでも減少させる 制服改訂結果と袍変更を検討 相談室の新規開設 	<ul style="list-style-type: none"> 集団宿泊研修の成果としての挨拶の励行を確認 自転車等による交通事故の減少数 新制服改訂による来年度入学生の意識調査実施 部活動の大会成果確認 相談室週4日開設し相談日を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活での挨拶習慣の定着は1年生の成果がやや不足。 事故数は残念ながら増となった。 新入生の保護者・生徒の制服に関する評判は極めてよかった。 部活動ではサッカー部が第88回全国高校選手権出場となった。 相談室開設は良い成果となった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶の日常的な習慣付けとして励行させることは、再度力を入れ充実させたい。 部活動も充実した結果を出しているが、幅広く活躍する下地を作りたい。 相談室は開設を継続し生徒の精神の安寧を図りたい。
4	研修体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業の充実と教育内容の工夫 授業公開と授業改善の意欲育成 教職員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季全教職員の研修実施 秋季授業公開による教科研修の充実。 外部指導者による職員意識改革の講演 	<ul style="list-style-type: none"> 実施の結果とその意識変化と成果を検証 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季全教職員の研修実施 秋季授業公開による教科研修も予定通り実施。 授業評価研修時に授業評価を通じ全国的な評価状況の講演実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の研修の在り方は、今後の大きな課題であり、より充実したい。
5	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 授業や学校内容の公開を含め実施 経理公開 ホームページの積極的な更新による発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校見学の大幅な実施。更に中学校・塾等の見学会の実施 外部者向けの授業公開 学校教育目標・内容等のホームページ上での公開 	<ul style="list-style-type: none"> 広く計画的に学校内容及び自己評価の公開を確認。 ホームページのアクセス数の増加を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価はホームページや掲示等を通じ本校の教育内容を広く公開した。 内容を工夫したホームページのアクセスは大幅に増加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校内容を広く計画的に公開し一層の周知に努めたい。 ホームページは更に改善し外部や内部を含め活用の利便性を図りたい。

学校評価アンケート結果について

西武台高等学校

平成22年2月1日より 全学年対象 コース別抽出で学校評価アンケートを実施した。
対象

- 1 学年 総人数 609名 抽出対象者数 158名 (26%)
- 2 学年 総人数 334名 抽出対象者数 127名 (38%)
- 3 学年 総人数 404名 抽出対象者数 142名 (35%)

- ・表を分析するにあたり、肯定的意見として「当てはまる」「だいたい当てはまる」をあわせ
否定的意見として「あまり当てはまらない」「当てはまらない」をまとめ、課題を浮き彫り
とした。

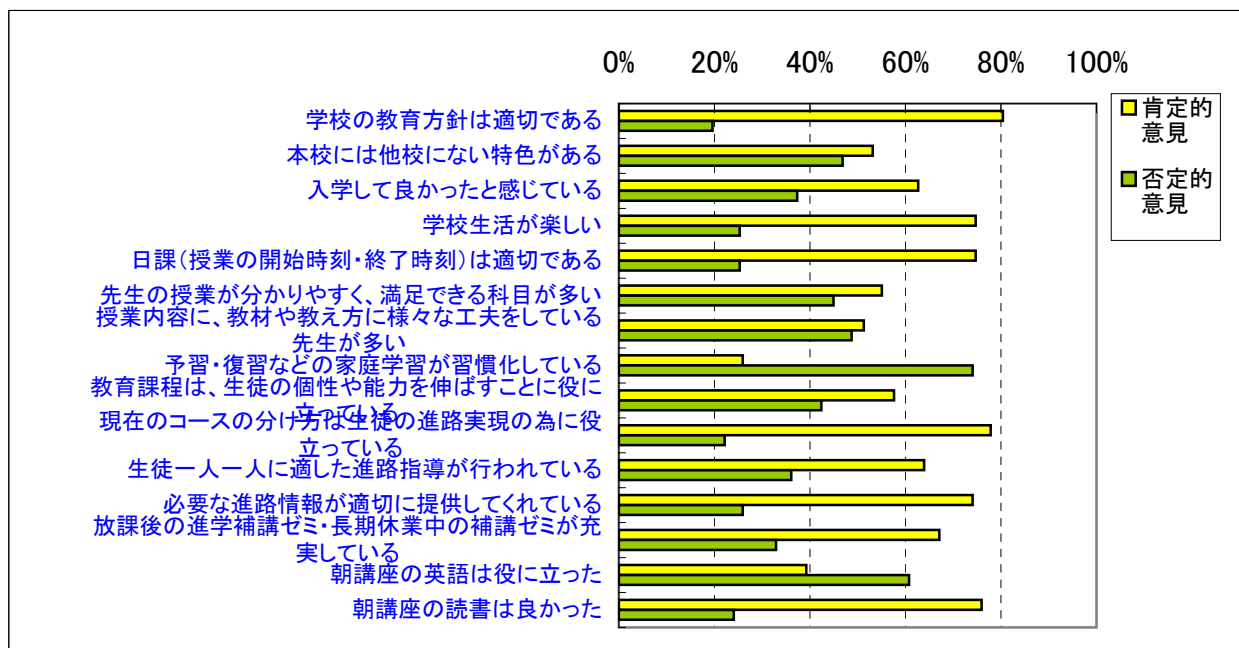
《全体の傾向と分析》

- ・1学年は学校に対する期待も高く満足度も高いが、3年生になると落ちてくる点は今後一工夫
必要である。
- ・学校生活が楽しいと感じている生徒の割合が高いことはとても喜ばしい。
- ・進路指導も信頼されてはいるが、3年生ではより一人一人にあった適切な指導が欲しいと
要求度が上がってきている。
- ・特に今回とった朝講座の在り方は、平成22年度に改善を行った。
- ・全体の課題として大きなものは、自主学習時間が少ない。これは昨年度秋より対策をとったが
効果がなかなか上がってきていない。これがこれからの大きな課題となっている。

《アンケート結果》

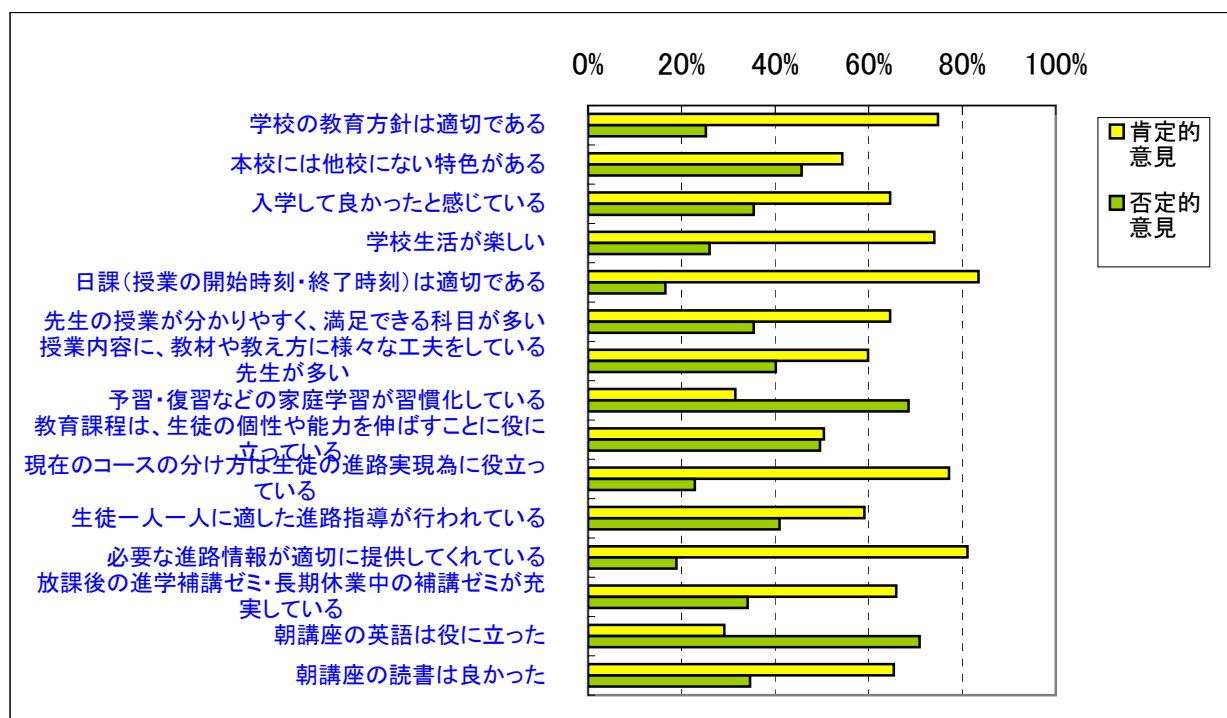
1 学年

質問項目	肯定的意見	否定的意見
1 学校の教育方針は適切である	80%	20%
2 本校には他校にない特色がある	53%	47%
3 入学して良かったと感じている	63%	37%
4 学校生活が楽しい	75%	25%
5 日課(授業の開始時刻・終了時刻)は適切である	75%	25%
6 先生の授業が分かりやすく、満足できる科目が多い	55%	45%
7 授業内容に、教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い	51%	49%
8 予習・復習などの家庭学習が習慣化している	26%	74%
9 教育課程は、生徒の個性や能力を伸ばすことに役に立っている	58%	42%
10 現在のコースの分け方は生徒の進路実現の為に役立っている	78%	22%
11 生徒一人一人に適した進路指導が行われている	64%	36%
12 必要な進路情報が適切に提供してくれている	74%	26%
13 放課後の進学補講ゼミ・長期休業中の補講ゼミが充実している	67%	33%
14 朝講座の英語は役に立った	39%	61%
15 朝講座の読書は良かった	76%	24%



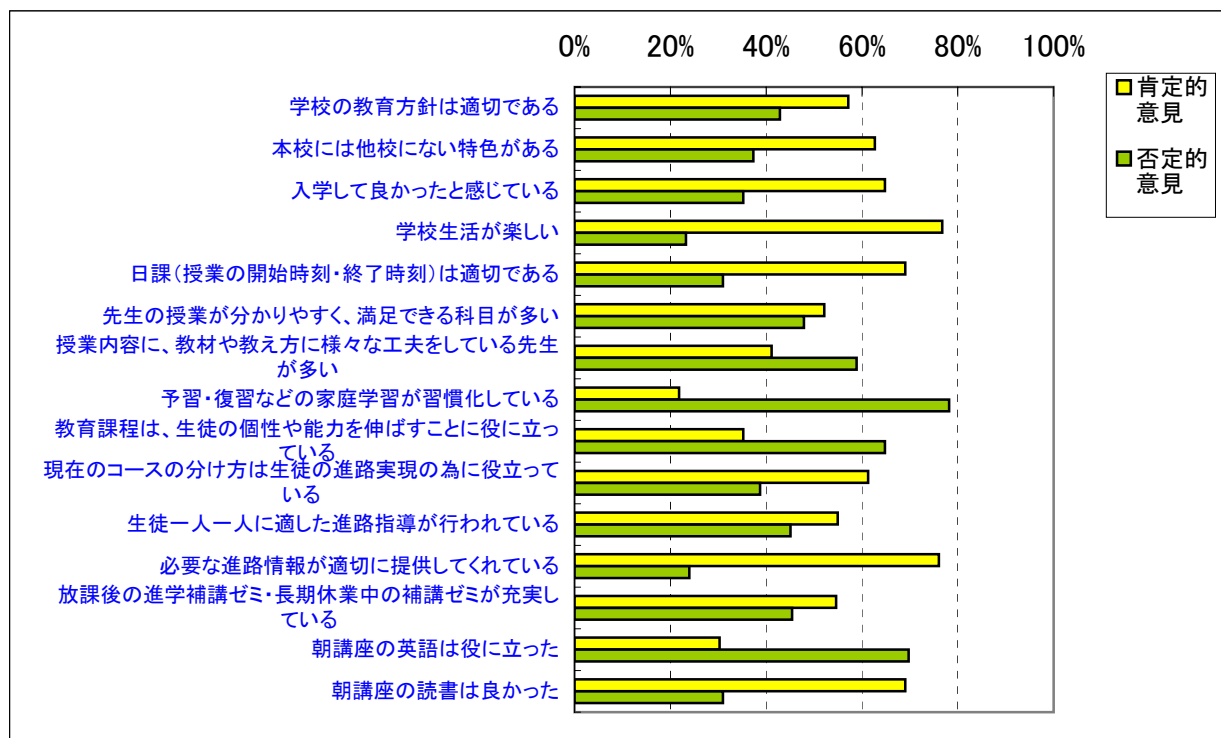
2 学年

質問項目	肯定的意見	否定的意見
1 学校の教育方針は適切である	75%	25%
2 本校には他校にない特色がある	54%	46%
3 入学して良かったと感じている	65%	35%
4 学校生活が楽しい	74%	26%
5 日課(授業の開始時刻・終了時刻)は適切である	83%	17%
6 先生の授業が分かりやすく、満足できる科目が多い	65%	35%
7 授業内容に、教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い	60%	40%
8 予習・復習などの家庭学習が習慣化している	31%	69%
9 教育課程は、生徒の個性や能力を伸ばすことに役に立っている	50%	50%
10 現在のコースの分け方は生徒の進路実現為に役立っている	77%	23%
11 生徒一人一人に適した進路指導が行われている	59%	41%
12 必要な進路情報が適切に提供してくれている	81%	19%
13 放課後の進学補講ゼミ・長期休業中の補講ゼミが充実している	66%	34%
14 朝講座の英語は役に立った	29%	71%
15 朝講座の読書は良かった	65%	35%



3 学年

質 問 項 目	肯定 的意 見	否定 的意 見
1 学校の教育方針は適切である	57%	43%
2 本校には他校にない特色がある	63%	37%
3 入学して良かったと感じている	65%	35%
4 学校生活が楽しい	77%	23%
5 日課(授業の開始時刻・終了時刻)は適切である	69%	31%
6 先生の授業が分かりやすく、満足できる科目が多い	52%	48%
7 授業内容に、教材や教え方に様々な工夫をしている先生が多い	41%	59%
8 予習・復習などの家庭学習が習慣化している	22%	78%
9 教育課程は、生徒の個性や能力を伸ばすことに役に立っている	35%	65%
10 現在のコースの分け方は生徒の進路実現の為に役立っている	61%	39%
11 生徒一人一人に適した進路指導が行われている	55%	45%
12 必要な進路情報が適切に提供してくれている	76%	24%
13 放課後の進学補講ゼミ・長期休業中の補講ゼミが充実している	55%	45%
14 朝講座の英語は役に立った	30%	70%
15 朝講座の読書は良かった	69%	31%



平成21年度 学校評価懇話会経過と評議員による評価結果

平成21年度12月17日（木）に本校第2会議室において学校評価懇話会を開催した。参加者は下記の通りです。

評議員：北村、尾櫃、田島、細田 様の計4名

学校職員：校長、教頭、事務長、主な分掌主任、及び各教科主任

生徒代表：平成21年度生徒会役員他（7名）

1 深澤校長より学校概要報告

○全体報告 ○ 2学期の部活動の結果報告 ○現在までの生徒の進路状況

2 授業評価 授業評価について議題の中心とした

(1) 各教科から授業評価に対して生徒の要望に対する主任からの解答を説明。

(2) 生徒会代表よりの評価

先生方は熱心に指導してくれるし、教科によっては放課後遅くまで指導してくれる。

授業もわかりやすく熱心な先生方が多い。こうした会合があることがうれしい。

3 評議委員による全体評価

評議委員：北村様

西武台創立以来、川口の中学校から卒業生を送り、昨年までたくさんの卒業生を育ててくれたので感謝しています。今日の先生方の話を聞き生徒の指導に熱心に取り組んでくれているし、成績についても向上させているようです。また生徒会長の前向きな姿勢にも感動しました。また生徒も学校生活を楽しんでいるようでした。

評価懇話会の資料については、学校に入学し学びとは何か、進路選択についてはどのように指導し、生徒について面談をしながらその生徒に合った指導が行われているように感じたいです。評価は大変難しいがどの様に学校が取り組んでいるのかがわかった。全体的な取り組みに対して高く評価としたい

評議委員：細田様

昔から西武台高校は知っているが、学校が熱心に進路に取り組んでいるのが良く分かるし、生徒一人、一人を把握して指導している。生徒の発言も良かった。この調子で今後ぜひ頑張ってもらいたい。

評議委員：尾櫃様

学校の授業は一度も見たことはないが、授業のようすが良くように分析されている。

今の生徒は鉛筆を削る事もないが、りんごの皮むきや鉛筆をナイフで削っていたし、そして皆でグラウンドの草むしり等もやっていたが今はそんなことはやらない。授業評価については学校はよくやっているとします。読書等は本当に大事なことであるのでしっかりやってほしい。感動したのはこんな場所で生徒会の生徒が良く喋ったことで自分自身は感動した。

評議委員：田島様

学校の授業は一度も見たことがないが、学校の様子は良く分かった。自分の学生時代に授業について行けたかどうか疑問に思います。人前で話すことが苦手であったので生徒会の子が良く喋ったのには感心した。こうした評価懇話会が実施されたことにも高く評価したい。

平成21年度 第三者委員による総合評価

第三者評価委員会は 大学教授を委員長に、地元選出前県議、特別養護老人ホーム園長の3人の方を委員として迎え、3月4日に本校応接室で平成21年度評価を行っていただいた。

校長・及び必要な分掌責任者からの説明を行い、1年間の本校の教育活動評価をしていただいた。結果は以下の通りでした。

平成21年度 第三者総合評価書 西武台高等学校評価委員

評価実施年度	平成 21 年度	学 校 名	私立武陽学園西武台高等学校
目指す学校像	<p>将来の社会の変化に対応できるしなやかな知性と耐性のあるたくましい精神の育成。</p> <p>長寿社会のもと、長き生涯にわたっての学び方を学び、学び続ける方法を身につけさせる。</p>		
重 点 目 標	<p>1「人間教育を掲げた校訓を尊重する学校運営を基礎とするが、当面進学実績 の大幅な 改善を目指す方策を探り、具体的な行動を実施する。」</p> <p>2 「いじめのない安心・安全な学校生活の保障」を目標とする。</p> <p>3 学校行事・部活動の充実をはかりたくましく健全な精神の育成を図る。</p>		
総 合 評 価	<p>目指す学校像を達成すべく、知・情及び頑健な身体の育成をかがげるのは、誠に当を得ている。深澤校長の的確なリーダーシップの下、着々と目的を達成しつつあるものと考え。が一部教員がその熱意に応じているか、必ずしも判然としない。「5」と評価されるのは、当然の結論といってよい。</p>		<p>総合 評価 5</p>

(評定 5：極めて優れている 4：非常によい 3：良い
2：課題がある 1：課題が多く速やかな改善が必要)